

**第36回 北信越高等学校新人 バasketボール選手権大会
男子 三位 決定戦 結果**

高岡工芸 58

9	-	19
15	-	15
17	-	13
17	-	14

 61 高 志

テーブルスコア

A 高岡工芸		得点	野投(本)		自由投 (本)	反則	B 高 志		得点	野投(本)		自由投 (本)	反則
No	選手名		3点	2点			No	選手名		3点	2点		
	堀 田	16	3	3	1	1		茂 原	16	4	2	0	2
	加 藤	15	3	3	0	5		出 口	13	1	4	2	2
6	野 原	2	0	1	0	0	6	三 上					
7	茂古沼	8	0	3	2	2		柿 原	2	0	1	0	2
	関 口	6	0	2	2	3	8	増 田	0	0	0	0	0
	久々江	0	0	0	0	0	9	野 路					
	白 岩	0	0	0	0	5	10	矢 尾					
11	常 川	11	0	5	1	2	11	藤 井					
12	三 井						12	板 倉					
13	朴 木						13	平 川	2	0	1	0	0
14	釣						14	吉 田					
15	加賀谷						15	酒 井					
16	竹 島						16	嶋 田					
17	森							岩 瀬	12	0	6	0	3
18	林	0	0	0	0	0		河 野	16	0	6	4	2
合 計		58	6	17	6	18	合 計		61	5	20	6	11

戦 評

高志 3 - 2、高岡工芸 2 - 2 - 1 ~ 2 - 3 ゾーンディフェンスで終始した。先手を取ったのは高志。190cmコンビの 岩瀬 河野の高さを生かして攻める。一方、シュートのなかなか決らない高岡は 堀田の個人技で何とか追いつくも 1Qを9対19、2Q24対34と10点ビハインドとして、後半を迎える。

3Q、高岡はシューター加藤にようやく当たりが戻り連続3P、常川の落ちついたゴール下等で盛り返し、41対47と差を詰めて最終Qへ。

高志は 茂原が途中足を故障で退くなど、やや疲れが見え、自らのミスで徐々に詰められる展開となった。残り3分50秒 堀田の3Pで高岡がこの試合初めて56対54とリードする。しかし、復帰した高志 茂原が意地の3Pを立て続けに2本決めて再逆転、残り1分50秒で60対58とした。最後まで勝利に対する執念を見せてチームでがんばったが高岡工芸だが届かず、そのまま61対58で高志が熱戦を制し、北信越3位をキープした。準決勝の2試合に続き双方ともチーム一丸で戦った好ゲームだった。